

Murayama.Honda Dream.RT

2022年MFJ全日本ロードレース選手権

●第3戦 5/21(土)-22(日) オートポリス・スーパー2&4レース 開催場所:オートポリス(大分県)



第3戦の舞台は大分県にあるオートポリス。第2戦と同じく2輪と4輪のレースが同日に開催される2&4レースだ。土曜日に予選とレース1の決勝。翌日曜日にレース2の決勝が行われる。

本来ならMurayama.Honda Dream.RTはエースの秋吉選手が参戦するはずだったが、第1戦の怪我の影響で、まだ走れる状態ではない。そこで代役として今野選手が参戦することとなった。秋吉選手のゼッケン7番を付けた車両で急遽参戦することになった今野選手にとって、車両のセッティングも詰められない状態での予選は厳しいものと予想された。さらに予選の前には降雨があり、路面コンディションはウェット。慣れないマシンを駆る今野選手は予選2周目にスリップダウンしてしまった。それでも何とかコース

に戻り、再び走り出すことが出来たのだが、不本意ながら予選通過基準タイムをクリアできなかった。

土曜日のレース1決勝には出場できなかったが、ドライの練習走行では軽く基準タイムをクリアしているので大会審査委員会に嘆願書を提出。日曜朝のウォームアップ走行では予選をクリアしたライダーよりも速いタイムをたたき出し、決勝レースを走る速さがあると認められて、レース2決勝に出場できることとなった。

日曜日は朝から晴れてコース状態もドライ。今野選手は参加27台中、23番目のグリッドからスタートした。

シグナルグリーンから絶妙のスタートを切った今野選手は、オープニングラップで3台をかわし20番手に上がった。しかし、ペースはなかなか上がっていかない。急遽参戦したことによりサスペンションや、ECU (Electronic Control Unit)のセッティングがまだ煮詰まっていないため、コーナーの立ち上がりからタイムを稼ぐストレートにかけてスピードが乗っていかないのだ。最後はトップと同一周回ながら、予選順位と同じ23位でチェッカーを受けた。鈴鹿8耐までに、まだまだ煮詰めていく課題はあるが、CBR1000RR-Rにも徐々に慣れて、安定した走りができるようになってきたことは収穫だった。

今野選手はまだまだマシンになれていない、様々な要求をメカニックにしてくる、ホンダドリームジャパンからのメカニックサポートは、メカニックの作業をスムーズに進める役目もあり、走行に合わせたスタンド上げおろし、タイヤウオーマーの管理など作業内容を増やして作業サポート。今回は博多、熊本からの2名が協力、チームのレース運営をサポートした。

次の舞台は山形県天童市に拠点を置くMurayama.Honda Dream.RTにとってホームグラウンドといえる宮城県仙台市のSUGOサーキット。エースである秋吉選手の復帰も予定されているので楽しみだ。



■第3戦レース結果

今野由寛選手

レース1 予選不通過

レース2 決勝23位